

JAOS FENDER GARNISH type-X Installation Instructions

Vehicle Application
SUZUKI HUSTLER 20.01- (MR52S/92S)

このたびは JAOS フェンダーガーニッシュ type-X をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書はフェンダーガーニッシュ type-X を取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間
INSTALLATION TIME

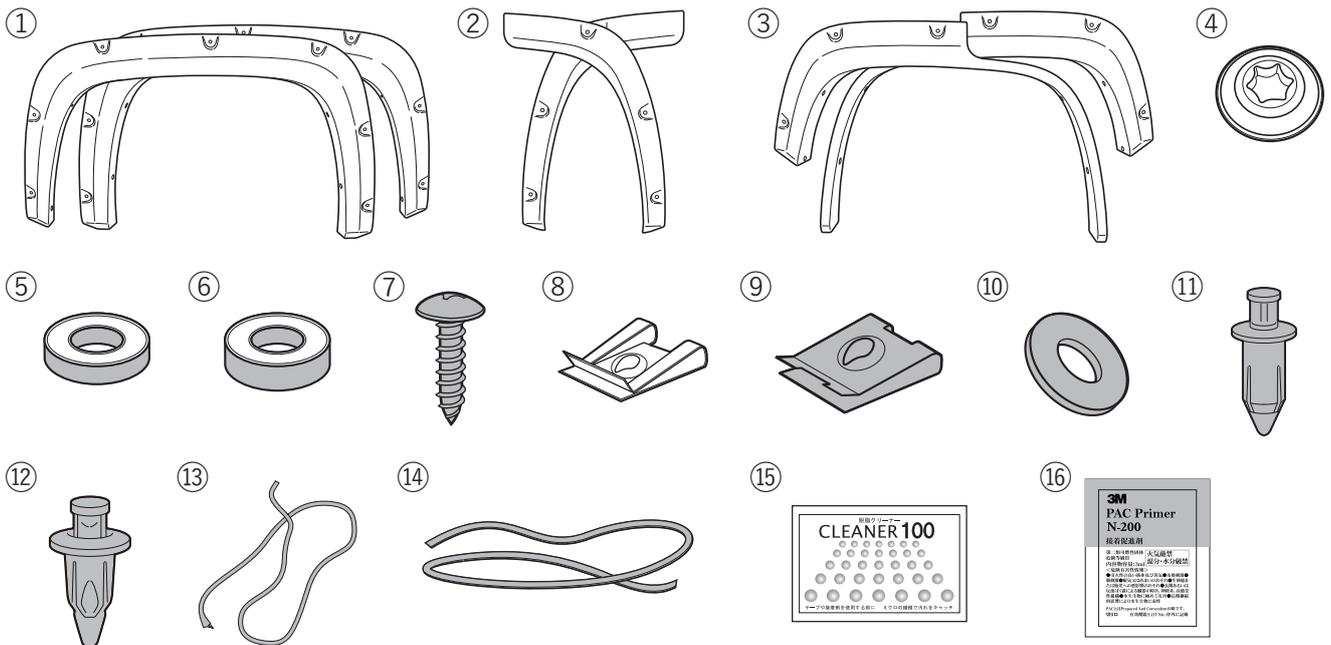


約 2.0 時間
2.0-hours

必要工具
TOOL
プラスドライバー
クリップクランプツール
マスキングテープ、養生テープ

作業難度 SKILL LEVEL	① パーツ交換 / 取付	Easy
	② 車体加工あり	Moderately Easy
	③ 専門知識が必要	Moderately Difficult
	④ 分解整備	Difficult

部品構成



構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY
① フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) FENDER GARNISH(FRONT FENDER LH/RH)	各 1	⑨ スピードナット B (ブラック) SPEED NUT B	4
② ドアガーニッシュ本体 (R ドア / 左右) DOOR GARNISH(REAR DOOR LH/RH)	各 1	⑩ ワッシャー WASHER	2
③ フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー / 左右) FENDER GARNISH(REAR FENDER LH/RH)	各 1	⑪ プッシュリベット A PUSH RIVET A	6
④ ダミーボルト DUMMY BOLT	26	⑫ プッシュリベット B PUSH RIVET B	4
⑤ ゴムワッシャー A (3mm) RUBBER WASHER A	14	⑬ エンドモール END MOLDING	1
⑥ ゴムワッシャー B (5mm) RUBBER WASHER B	2	⑭ パッドモール PAD MOLDING	4
⑦ タッピングスクリュー TAPPING SCREW	6	⑮ クリーナー 100 REMOVE GREASE CLEANER	1
⑧ スピードナット A (シルバー) SPEED NUT A	2	⑯ PAC プライマー PAC PRIMER	1

塗装について

! **注意** 塗装前には必ず取付確認を行ってください。
塗装後の製品交換は、お受けしかねますのでご了承ください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行う。
2. サンドイニング処理・プライマー塗装を行う。
3. 上塗り塗装を行う。
4. 乾燥させる。

! **注意** 本製品を塗装する際は材質の特性上、高温焼付け塗装は行わないでください。
常温または製品表面温度が 30 ~ 40°C 程度の低温焼付けを行ってください。

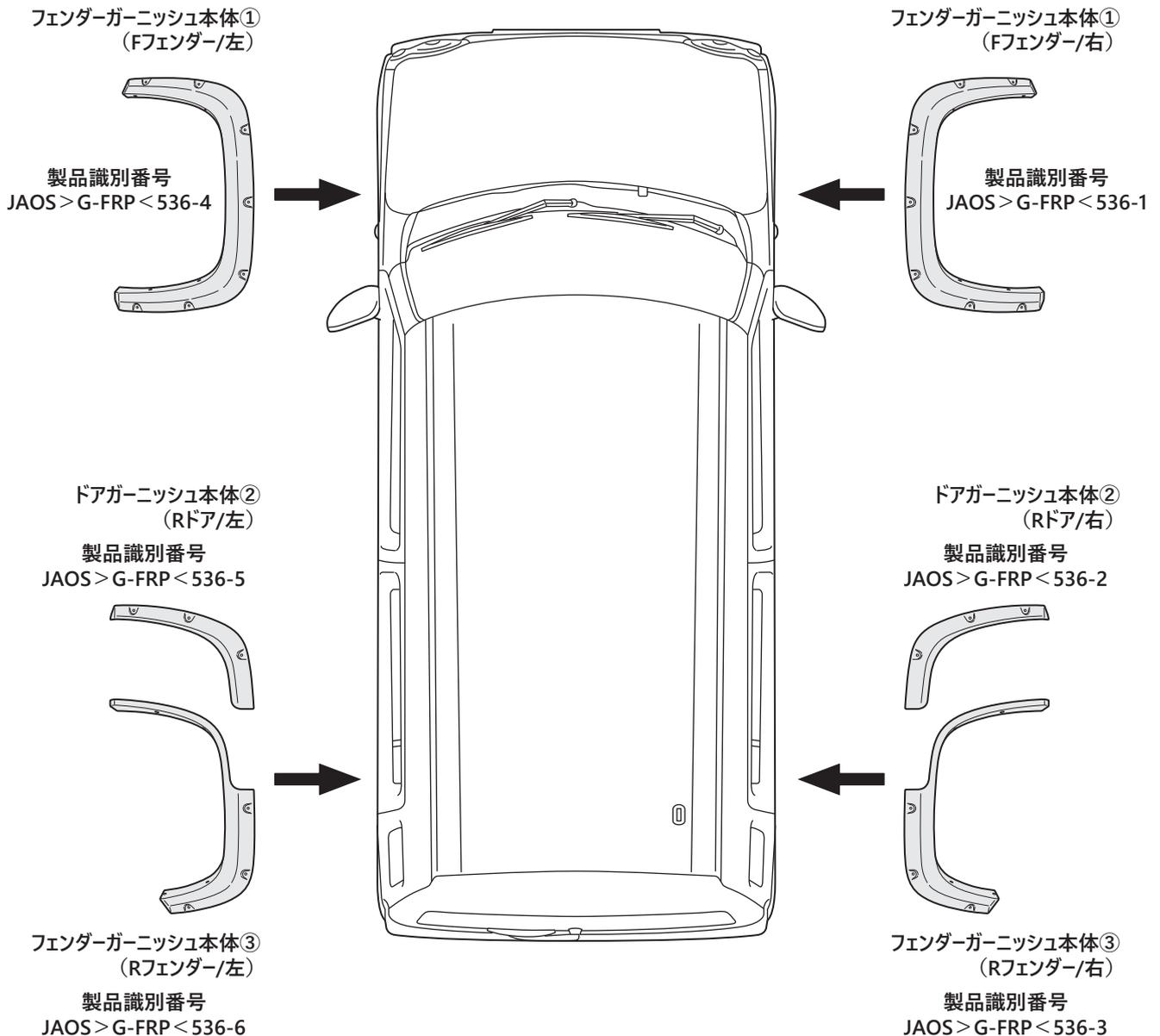
フェンダーガーニッシュ本体① (Fフェンダー / 左右)

ドアガーニッシュ本体② (Rドア / 左右)

フェンダーガーニッシュ本体③ (Rフェンダー / 左右) を塗装してください。

取付位置の確認

※○の数字は本書の構成部品番号です。



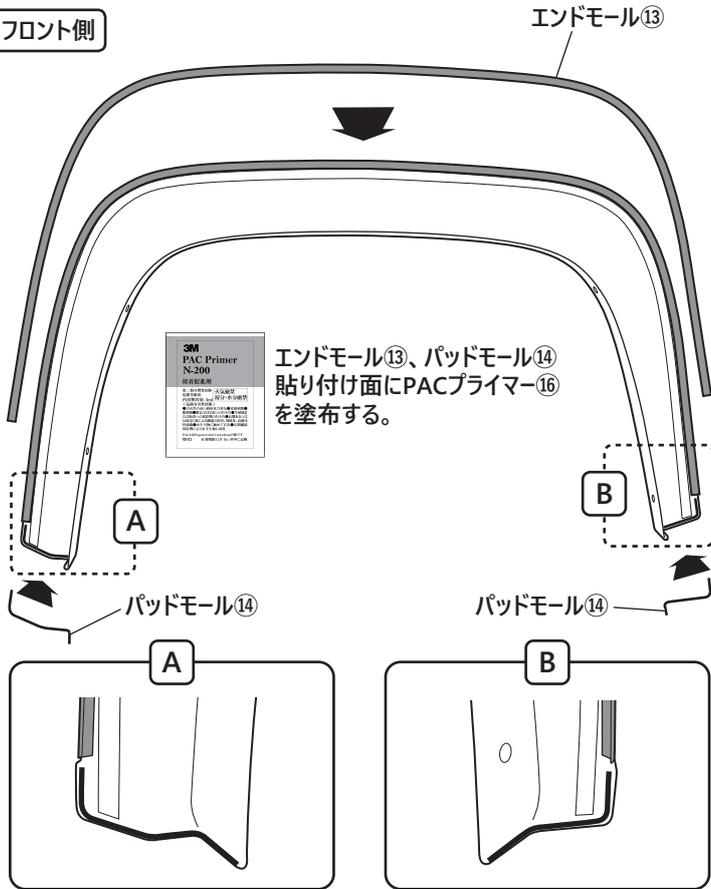
取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

1. 製品の取り付け準備

LH図示 ※RHも同様

フロント側



- 図のようにフェンダーガーニッシュ本体 (Fフェンダー / 左右) ①、ドアガーニッシュ本体 (Rドア / 左右) ②、フェンダーガーニッシュ本体 (Rフェンダー / 左右) ③のエンドモール⑬、パッドモール⑭貼り付け面にPACプライマー⑯を塗布します。
※ PACプライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。

- 図を参照し、エンドモール⑬、パッドモール⑭を貼り付けます。

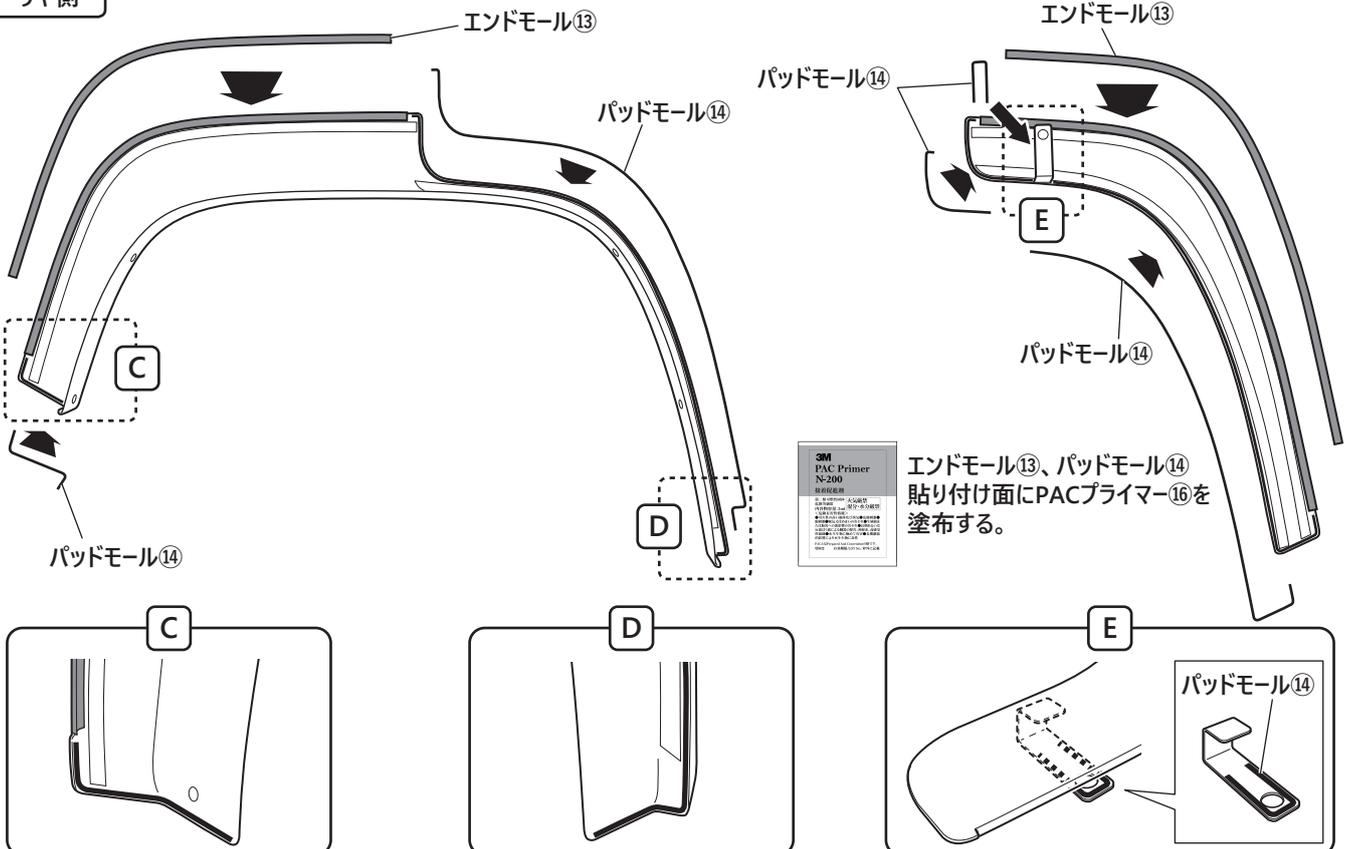
注意 PACプライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。

両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PACプライマー N200)

- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いため、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で10分間程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

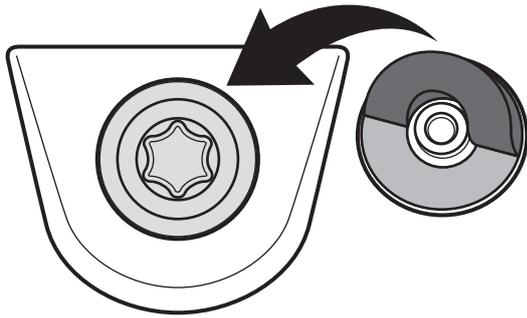
3M PAC Primer N-200 接着促進剤

リヤ側



2. ダミーボルトの貼り付け

裏側の離型紙を剥がす



- フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー) ①、ドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②、フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③にダミーボルト④を貼り付けます。

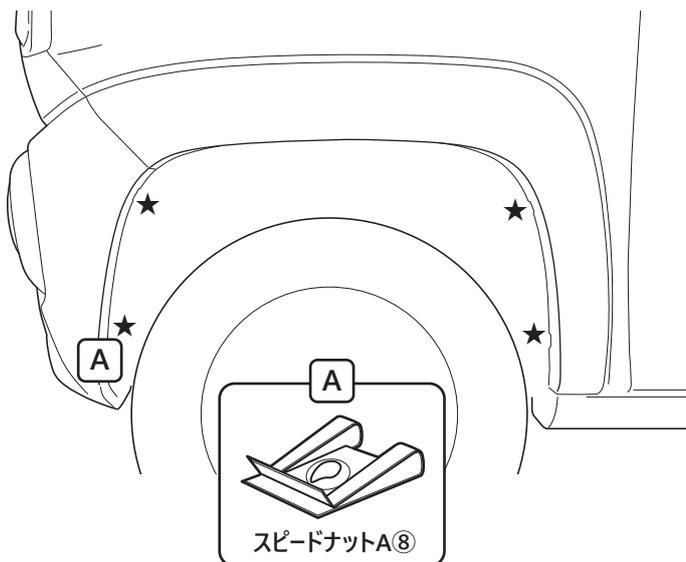
■フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー) ①
片側 7 箇所、左右計 14 箇所

■ドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②
片側 3 箇所、左右計 6 箇所

■フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③
片側 3 箇所、左右計 6 箇所

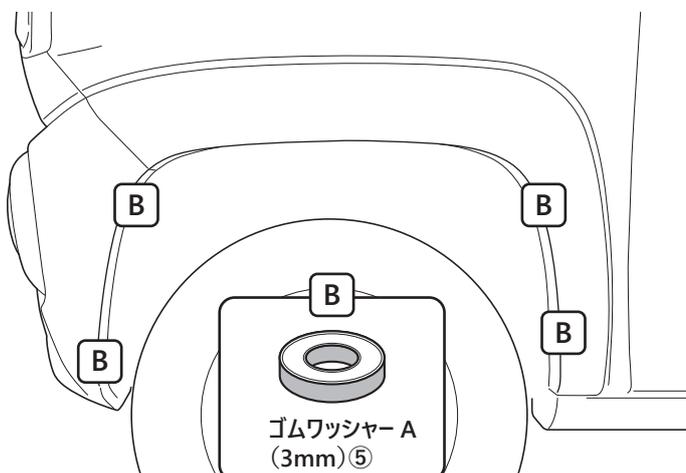
3. フロント側の取り付け準備

LH図示 ※RHも同様

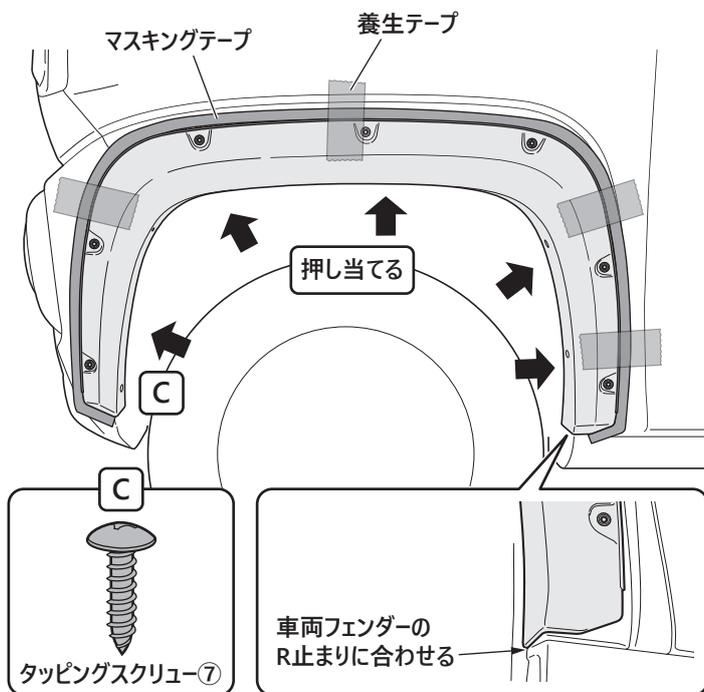


- 車両からインナーフェンダーを取り外します。
- 図 A の箇所にスピードナット A ⑧を取り付けます。
- インナーフェンダーを車両に復元します。

👉アドバイス ★の箇所から取り外した純正クリップは使用しません。大切に保管してください。



- 図 B のゴムワッシャー A (3mm) ⑤貼り付け面に PAC プライマー⑯を塗布します。
- 図 B の箇所にゴムワッシャー A (3mm) ⑤を貼り付けます。

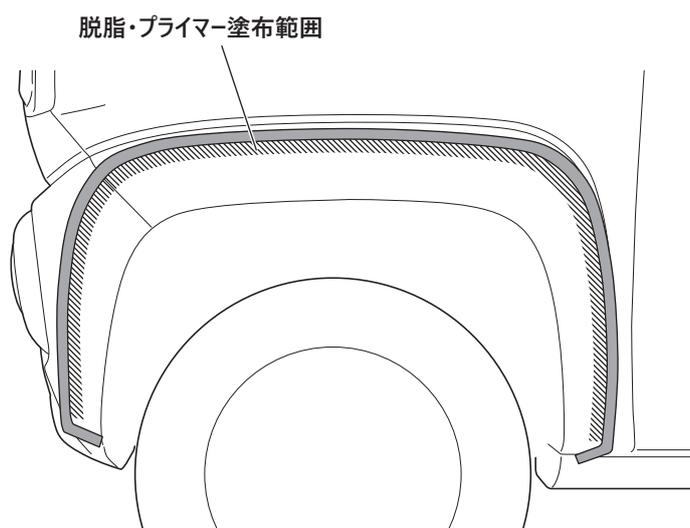


- 図を参照しフェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー) ①を車両にあてがい、養生テープで固定します。
- 図 C の箇所をタッピングスクリー⑦で仮締めします。

👉 **アドバイス** 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

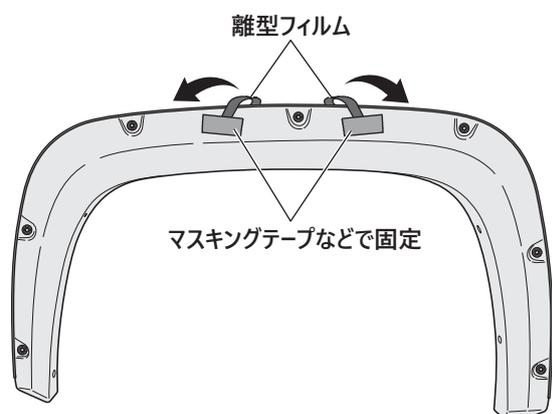
👉 **アドバイス** 車両フェンダーの R 止まりとフェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー) ①の端末を合わせてください。

- 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー) ①を取り外します。



- 両面テープの接着面 (斜線部) をクリーナー 100 ⑮で脱脂 / 洗浄し、同じ箇所に PAC プライマー⑯を塗布します。

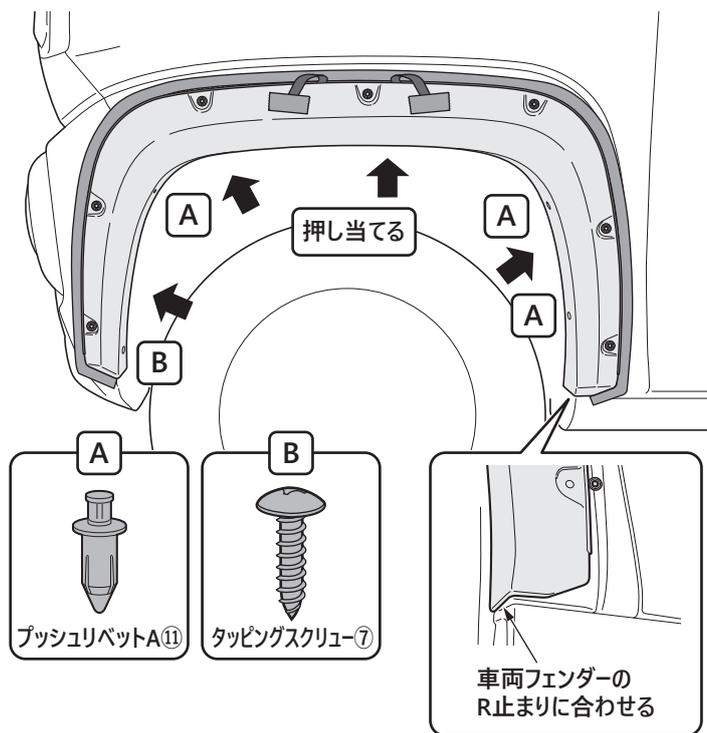
⚠️ **注意** クリーナー 100 ⑮及び PAC プライマー⑯はあとでリヤ側の作業にも使用するため、捨てずに保管してください。



- 両面テープの離型フィルムを中央でカットしてはがし、表面に折り返してマスキングテープなどで貼り付けます。

4. フロント側の取り付け

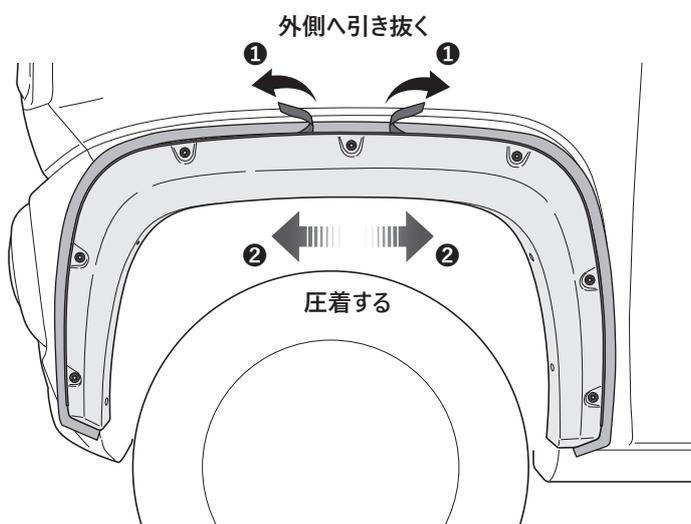
LH図示 ※RHも同様



- 図を参照しフェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー) ①を車両にあてがい、図 A の箇所をプッシュリベット A ⑪で固定します。
- 図 B の箇所をタッピングスクリュー⑦で仮締めします。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

👉アドバイス 車両フェンダーの R 止まりとフェンダーガーニッシュ本体①の端末を合わせてください。



- 上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを外側へ引き抜きながらはがします (①)。
- 両面テープの接着面を、中央から外側へ手で押し当てるように圧着します (②)。
- マスキングテープを剥がします。
- 仮締め箇所を本締めします。

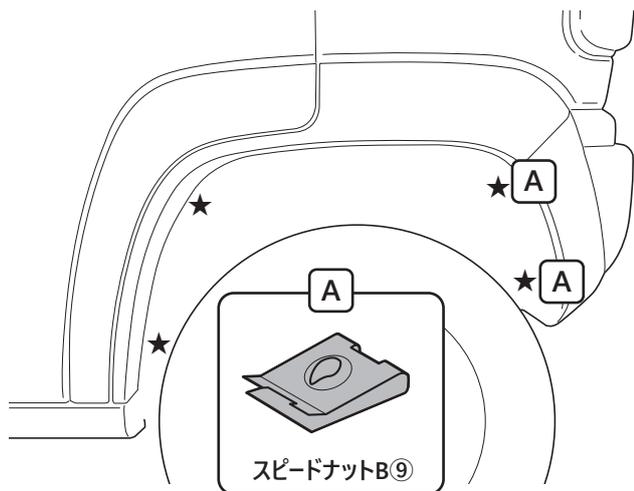
👉アドバイス 両面テープは気温が 15°C 以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤー等であたためてから作業を行ってください。

👉アドバイス 両面テープの圧着は 49N・m (5kgf/cm²) 以上で行ってください。

👉アドバイス 取り付け完了後、3 時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付部分に隙間が発生する可能性があります。

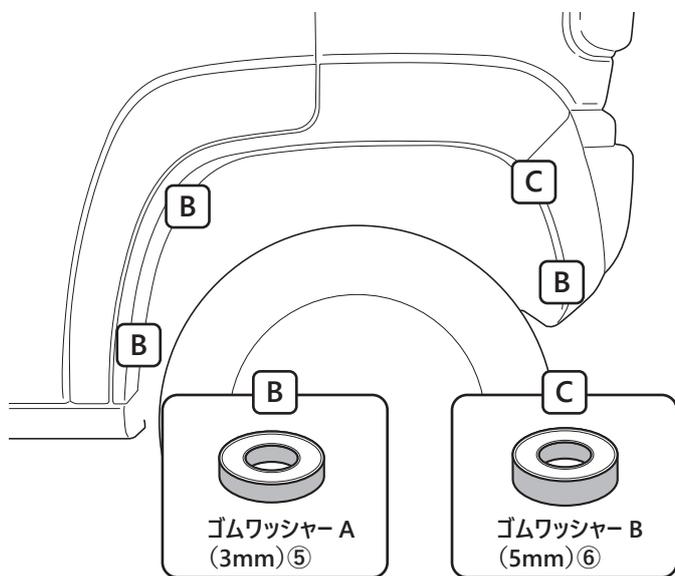
5. リヤ側の取り付け準備

LH図示 ※RHも同様

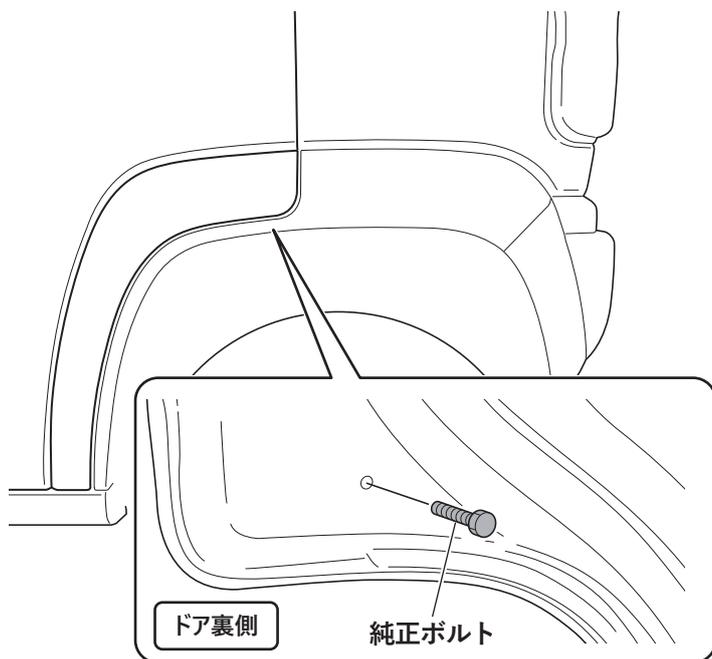


- 車両からインナーフェンダーを取り外します。
- 図 A の箇所にスピードナット B ⑨を取り付けます。
- インナーフェンダーを車両に復元します。

 **アドバイス** ★の箇所から取り外した純正クリップは使用しません。大切に保管してください。

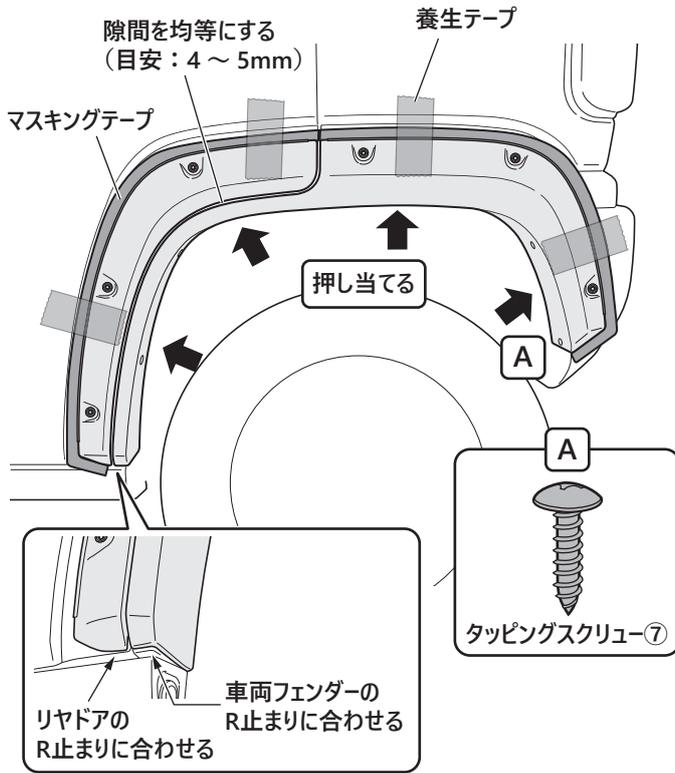


- 図 B のゴムワッシャー A (3mm) ⑤と図 C のゴムワッシャー B (5mm) ⑥貼り付け面に PAC プライマー⑱を塗布します。
- 図 B の箇所にゴムワッシャー A(3mm) ⑤を貼り付けます。
- 図 C の箇所にゴムワッシャー B(5mm) ⑥を貼り付けます。



- リヤドアの裏側から純正ボルトを取り外します。

 **アドバイス** 取り外した純正ボルトは再使用しますので、紛失しないように保管してください。

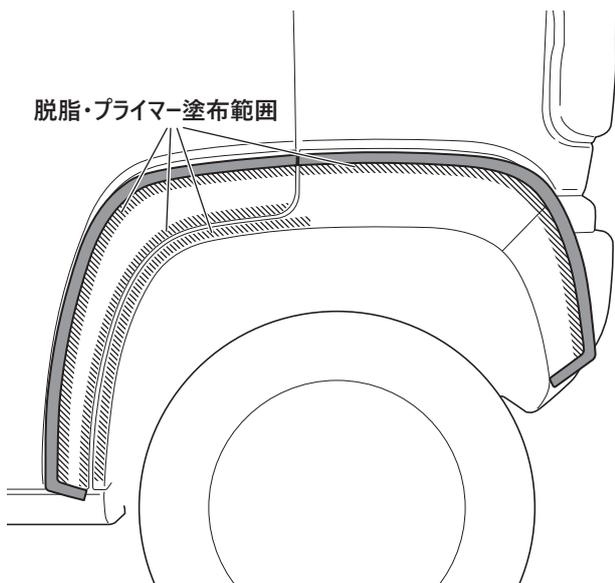


- 図を参照しドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②とフェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③を車両にあてがい、養生テープで固定します。
- 図 A の箇所をタッピングスクリュー⑦で仮締めします。

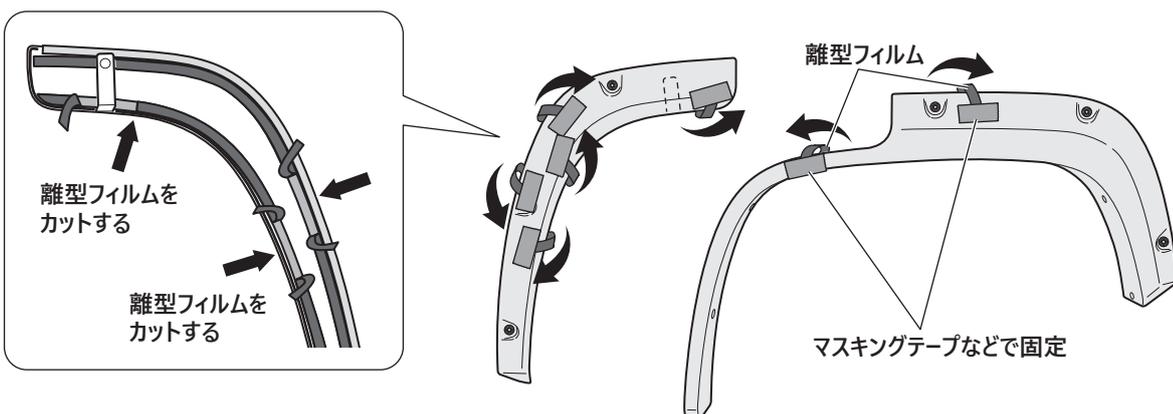
👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

👉アドバイス リヤドアの R 止まりとドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②の端末、車両フェンダーの R 止まりとフェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③の端末を合わせてください。

- 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- ドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②とフェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③を取り外します。



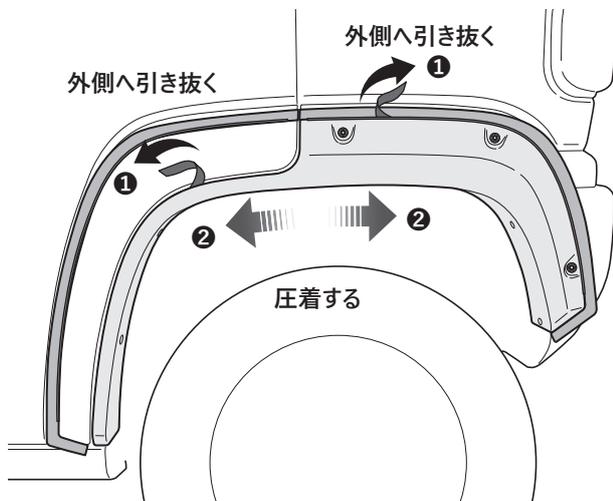
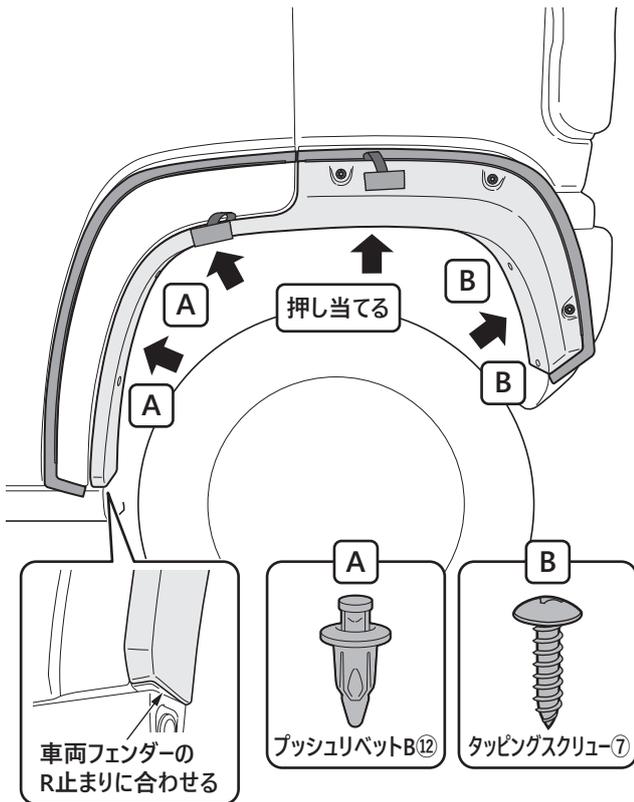
- 両面テープの接着面 (斜線部) をクリーナー 100 ⑮で脱脂 / 洗浄し、同じ箇所に PAC プライマー⑯を塗布します。



- 両面テープの離型フィルムを図の位置でカットしてはがし、表面に折り返してマスキングテープなどで貼り付けます。

6. リヤ側の取り付け

LH図示 ※RHも同様



- 図を参照しフェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③を車両にあてがい、図 A の箇所をプッシュリベット B ⑫で固定します。
- 図 B の箇所をタッピングスクリュー⑦で仮締めします。

⚠注意 フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③を先に取り付けてください。ドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②から取り付けると正しく取り付けできません。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

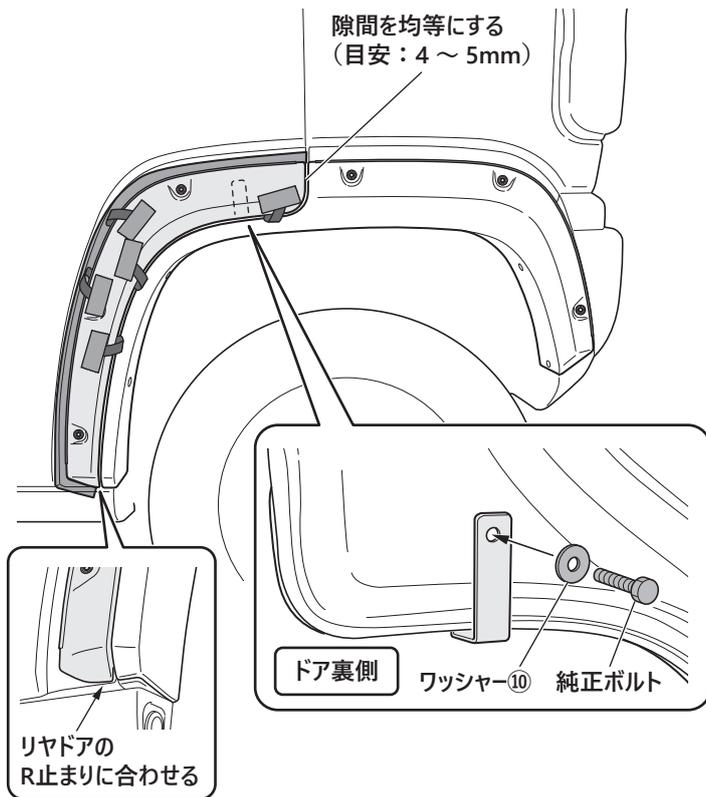
👉アドバイス 車両フェンダーの R 止まりとフェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー) ③の端末を合わせてください。

- 上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを外側へ引き抜きながらはがします (①)。
- 両面テープの接着面を、中央から外側へ手で押し当てるように圧着します (②)。
- マスキングテープを剥がします。
- 仮締め箇所を本締めします。

👉アドバイス 両面テープは気温が 15°C 以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤー等であたためてから作業を行ってください。

👉アドバイス 両面テープの圧着は 49N・m (5kgf/cm²) 以上で行ってください。

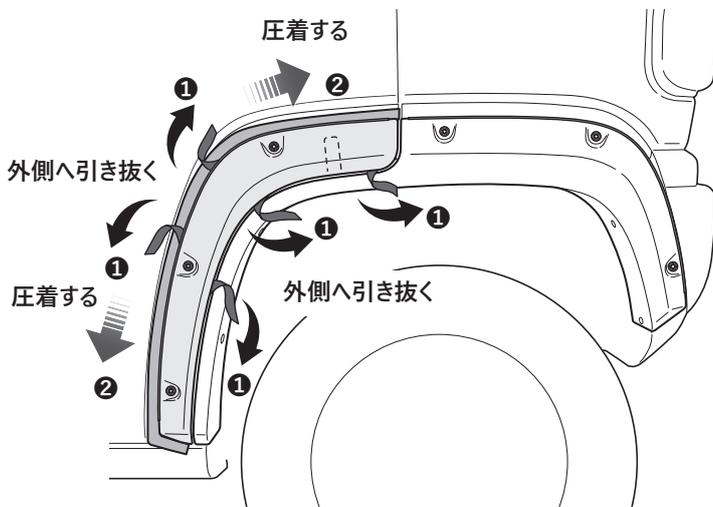
👉アドバイス 取り付け完了後、3 時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付部分に隙間が発生する可能性があります。



- 図を参照しドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②を車両にあてがい、ドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②のブラケットを純正ボルトとワッシャー⑩で固定します。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

👉アドバイス リヤドアの R 止まりとドアガーニッシュ本体 (R ドア) ②の端末を合わせてください。



- 上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを外側へ引き抜きながらはがします (①)。

- 両面テープの接着面を、中央から外側へ手で押し当てるように圧着します (②)。

- マスキングテープを剥がします。

- 仮締め箇所を本締めします。

👉アドバイス 両面テープは気温が 15°C 以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤー等であたためてから作業を行ってください。

👉アドバイス 両面テープの圧着は 49N・m (5kgf/cm²) 以上で行ってください。

👉アドバイス 取り付け完了後、3 時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付部分に隙間が発生する可能性があります。

装着状態の確認

⚠️ 注意 装着後には必ず取付確認を行ってください。
ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。